

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこころ
つくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

令和3年7月16日（金）午後1時30分～午後2時45分まで

場所

碧南市役所2階 談話室3

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 金沢宏治、伴野義雄、渡邊顕一郎、河原厚司、山田節子、長田千月、
杉浦英樹
- (2) 欠席者 なし
- (3) 事務局職員 福祉こども部長 杉浦秀司、こども課長 中川知之、
課長補佐 石井香代、主事 鈴木曜
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 山田正教、係長 永井邦枝、
係長 池田昇司、主査 井上明日香

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者氏名、発言内容
の要旨を公表する旨説明

議事進行 金沢委員長

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 令和2年度事業報告及び決算について

イ 令和3年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】年度当初児童数とは、いつ時点の児童数か。コロナウイルス感染症による学校休校時、児童センター等の他施設で児童の受入をしたと説明があつたが、その児童数の増減は含まれているのか。

【指定管理者】年度当初児童数は、前年の11月に申込した児童数。学校休校時、年度当初に申込をした児童のみを受入れたため、新規児童受入は行っていない。学校休校による増減はなし。密を回避するために他施設で児童の受入を行った旨説明をした。

【A委員】年度当初児童数が定員を超えているが、良いのか。

【事務局】申込時に、1週間に何回利用する児童なのかを把握し、その割合によって受入をしている。そのため、児童数で記載をすると定員を超えてしまうが、通常の入入ができる。例年、定員に比べ3割ほど多く弾力的に受入をしている。

【A委員】資料からは、定員以上の受入を行っているようにみえてしまう。弾力的な受入を行っているのであれば、その旨を資料へ記載するとわかりやすい。

【事務局】来年度から、記載をする。

【A委員】コロナウイルス感染症の影響により、人件費が増えたという説明があったが、人件費における当初予算額よりも決算額が少ない。どういう状況か。

【指定管理者】受入の最大を見越し、余裕を持った人員配置を計画しているため、予算額が多くなっている。支援員を募集しているが、なかなか当初に予定していた数の支援員が集まらず、支出が少なかったということである。コロナウイルス感染症拡大による学校休校期間は、午前中から開所したこと等により、人件費の支出が増えた。

【A委員】人件費において収支決算書のみをみると、予算額よりも決算額が少なくなっている。それは開所時間が少なくなったのか、人件費が少なくなったのかの2つが考えられる。実際に増えたという説明があったが、資料では確認がとれない。実際に増えているのであれば、補正などを行った上で、結果的に当初予算よりも増えた、減った等の説明になると良い。

【指定管理者】資料の数字のみでは、確かに増減はわかりにくい。令和2年度の運営は通常とかけ離れた形となったため、収支決算書では、人件

費の増減等を明確にすることができなかった。

【A委員】事業計画書が、児童センター事業等と比べて、漠然としているように感じられる。特に研修名などが漠然としている。また、利用者アンケートをどう活かすのか等記載をすると良い。

【指定管理者】イベントや、日常的なこと等について記載するように検討する。

【B委員】通所児童数について、増減が大きい例年このような状況なのか。

【事務局】例年、年度末にむかって、利用者の減少がみられる。4月は、給食がない期間がある。そのため、4月は、1年生の保護者における就労時間制限を短くし、「12時を超える場合」、受入をしている。4月のみ利用される方も多い。また、夏休み後の9月、10月は、高学年児童の退所が多い。夏休み1日中、一人でお留守番をさせることは心配だが、数時間であれば一人でお留守番できるため、夏休みを過ぎると退所が増える。

【B委員】年度当初は、定員以上に申込があり、年度末は定員内に収まっている。

数値のみでは、児童クラブの需要と供給のバランスがとれているか、わかりにくい。どのように考えているか。

【事務局】令和2年度は、コロナウイルス感染症の関係で、保護者がテレワークになったり、仕事が休業になったりと、児童クラブを利用しない方がいた。例年、年度末に定員程度に収まってくる。年度当初は、厳しい運営となっているが、一年間を通しては、無理のない範囲で運営ができています。

【B委員】全国的に、若い世代の所得が伸びない状況の中で、共働きが増えている。そのため現在は、児童クラブを利用する児童が多く、利用も伸びていると思われる。児童クラブの供給は、足りているかという議論になりがちだ。しかし、出生数は徐々に減っている。どこかのタイミングで、状況が逆転し、供給過多となる。このような状況を踏まえて、いまの体制で良いと考えているか。

【事務局】中央児童クラブは、低学年児童の利用が伸びたため、令和元年度に分館を増築。一番厳しい運営状況だったが、いまは緩和された。現在のところ、今ある施設で運営ができています。人数の伸びも著しくは

なく、1つの施設が例年、待機児童が発生する状況でもない。当面は、現在の受入体制で行う。

日進児童クラブにおいては、50人の定員であるが、いままでは余裕のある受入ができていた。小学校の児童数自体が少ないが、日進地区が近年、新興住宅地になり、数年後の児童数増加に不安がある。今後の動向を見極めながら、受入体制について検討していく。

【B委員】待機児童が発生しないように対応していくべきだが、需要と供給のバランスをみながら、対応してほしい。

【事務局】協力的な学校が多く、夏休み期間中は、学校の施設を開放している。学校側とも協力をし、今後も対応していく。

(2) 児童センター

ア 令和2年度事業報告及び決算について

イ 令和3年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【C委員】子育て情報メールに登録をしているが、メールやホームページ以外での周知方法や配信量を増やすと良いと思う。そうすることで、子育て世帯がイベント等に対し、参加意識が高まると思う。子育て世帯がイベントに参加しやすい環境作りができるが良い。

【事務局】子育て情報メールは、毎週金曜日に配信をしている。現在、施設より情報を受取り、こども課から配信している。令和3年10月より、碧南市の公式LINEに移行し、直接施設が配信できるように変更する。いままで以上にリアルタイムな情報を提供できるようになり、かつ子育て世帯には利用しやすいツールになると思う。また、情報量については施設と連携をとり、増やしていけるよう努める。

【D委員】碧南市公式LINEは、現在約3千人が登録をしている。必要な情報のみを受け取る設定も可能で、使い勝手がいいサービスだと思う。

【委員長】社会福祉会では、利用者に対する登録促進へも力を入れてほしい。

【E委員】音楽あそびとは、どういうものか。

【指定管理者】実際に楽器を触りながら、振動などを感じ、身体の感覚を養って
いくあそび。0～2歳児が利用している。

【委員長】各施設の利用状況について、昨年度の実績を記載し、利用の増減が資
料でわかるようにすると良い。

【指定管理者】来年度より記載する。

【B委員】コロナウイルス感染症により、利用者の減少は仕方のないことだと思
う。しかし、利用者が減っているということは、子育て世帯が支援
につながりにくい状況ができてしまっているということだ。子育て
世帯の支援者たちが全国的にも心配しているのが、コロナ禍だから
こそ子育て世帯が家にこもりがちになり、産後うつに加え、コロナ
うつ、二重のうつを抱え込んでしまうことである。コロナウイルス
感染症の影響が、当分の間続きそうな状況の中で、コロナ禍だから
こそ、子育て世帯を孤立させないよう支援していく必要がある。
また、コロナウイルス感染症の収束が見込めない中、去年と同じプ
ログラムで良いのかというところを検討してほしい。全国的にも、
コロナ禍であっても、どのように支援をしていけるかと工夫がされ
ている中で、いろいろなプログラムや保健師の相談をZOOM等の
オンラインで行っているところもある。オンラインでの相談事業等
は行わないのか。先ほど話に合ったLINEやSNSなどの活用も
していけると良い。コロナウイルス感染症の影響が2年、3年と続
いていくとさまざまな影響が出てくる。早期に対応をしていくこと
が必要と考える。

【事務局】どのような形で行っていけるか、指定管理者と協議し、検討する。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 令和2年度事業報告及び決算について

イ 令和3年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【委員長】先日、音楽室を見に行った際に、琴があった。新しい事業で琴を使っ

ているのか。概要について知りたい。

【指定管理者】令和3年1月に、西端地区で琴を教えている先生にコンサートを実施してもらった。その後、ららくるにしばたで琴を購入し、実際に琴を利用し、レッスンを受けられる事業を行う。

【委員長】実際に利用はあるのか。

【指定管理者】今後8月には、ピアノと琴の演奏コンサートを実施する予定。ららくるにしばたは、音楽室があるため、音楽の事業に力を入れている。他には、ドラムクラブなどがある。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 令和2年度事業報告及び決算について

イ 令和3年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】利用者アンケートについて、利用者が満足していることが十分にわかる。資料においては、満足しているという意見や、同様な内容の意見については、まとめて記載すると良いと思う。また、満足していないという少数意見について今後こういった取り組みをし、アンケートをどう生かすかを明確にすべき。

【指定管理者】今後アンケートを含めて、情報共有をしながら、対応をしていきたい。児童クラブにおいては、お叱りのご意見に対する回答を、玄関に掲示をしている。他施設においても、ご意見に対し、どう対応をしていくか伝えられるよう、検討していく。

【B委員】ファミリーサポートセンター事業について、コロナウイルス感染症の影響を受けたか。全体としての利用状況は、どうか。

【指定管理者】令和2年4月および5月は、コロナウイルス感染症の影響で塾が休みになり、送迎で利用していた方の利用が減った。全体としてはあまり減少はみられない。むずかしい事案も多く、苦慮することもある。

【B委員】今現在、依頼はすべて受けられているか。マッチングできないことはあるのか。

【指定管理者】急な依頼や、配慮が必要な児童の場合や、協力会員の時間が合わない等、マッチングができずに断るケースがある。また、早朝時間の利用依頼がある場合は、相談をしたり、断るケースがある。

【B委員】依頼会員と協力会員の会員数のアンバランスが見受けられる。今後の対策や見通しは、どのように考えているか。

ファミリーサポートセンターの利用状況に合う方を、いかにつなげていけるかという中で、ファミリーサポートセンターのみで動くのではなくて、児童クラブ等と協力し、ファミリーサポートセンターのPRを行っている。協力会員の会員数は、現状維持が続いている。市民の方への発信のみでなく、児童クラブの職員へ周知をしている。なかなか増えない状況だが、今後も周知をしていきたい。

(5) その他

【B委員】碧南市は発達障害児支援に力をいれている。資料では、読み取れなかった部分だが、児童館で障害児支援に対しての具体的な取り組みを引き続き行い、障害のある子どもたちが、排除されない、過ごしやすい環境作りをお願いしたい。とりわけ、全国的にも、配慮が必要な子どもたちのファミリーサポートセンター利用が増えている。配慮が必要な子どもたちへの対応についても考えてほしい。また、児童館や児童クラブでは、家庭支援の役割としても対応をお願いしたい。心配しているのは、コロナウイルス感染症の影響での失業による経済的な影響である。子どもたちの中で経済的困窮が深刻化することが考えられる。そうした中で、児童福祉事業としての児童館、社会福祉事業としての児童クラブとして、どのように支援をしていけるか引き続き検討してほしい。今後もコロナウイルス感染症の影響で、利用者が減っているが、コロナ禍だからこそ子育て世帯を孤立させないために、支援をしてほしい。厚生労働省のホームページをみると、コロナ禍において、児童館の取り組み等の実践事例が紹介されている。SNSをつかった支援を行うなど、子どもたちが孤立しないように対応をお願いしたい。